



平成29年12月15日発行（毎年7月・10月・12月・3月発行）

新春

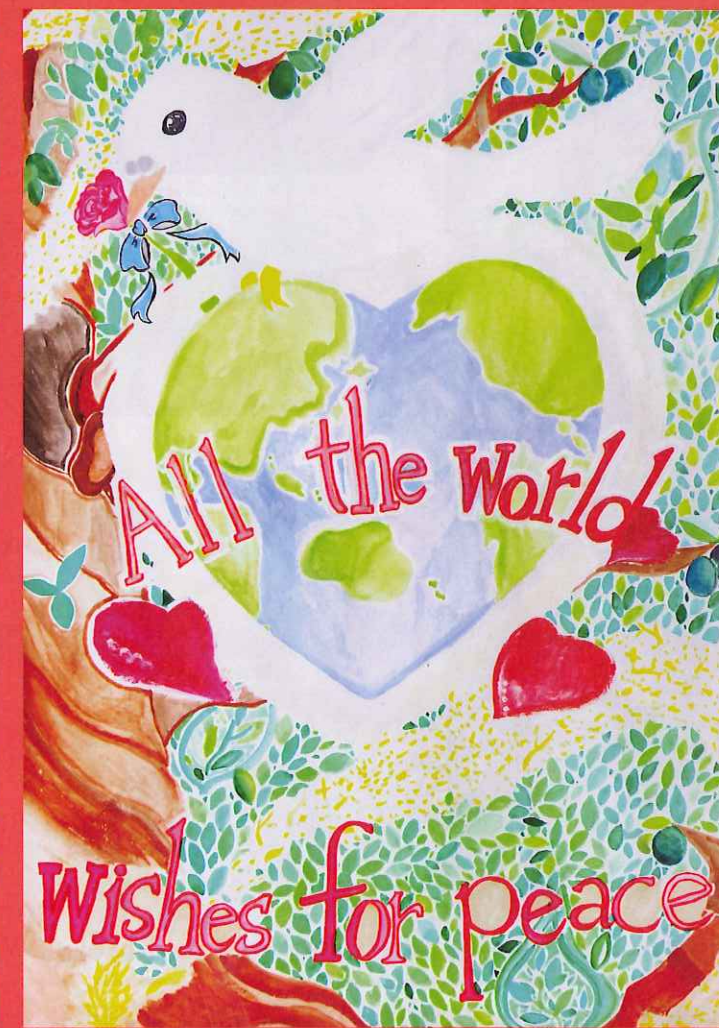
第139号

おちあい

責任者 坂田 英夫 企画・編集 落合第二地域センター管理運営委員会 広報部
〒161-0032 新宿区中落合4丁目17番13号 Tel. 03-3951-9941 Fax. 03-3951-9310



落合第五小学校5年 長濱屋末穂さん



落合第二中学校1年 横山あいさん

平和のポスター展 最優秀作品より

当日は秋晴れとなり、総来場者2004人と大盛況でした。3階多目的ホールでは式典後、19団体のステージ発表、1階2階では7団体の体験コーナーと5団体の模擬店。子どもを中心に老若男女でにぎわいました。模擬店や駐輪場整理などご協力いただいた各町会および目白大学の皆様、ありがとうございました。

ステージ部門



坂田 英夫 管理運営委員会会長



吉住 健一 区長



遠藤 剛 特別出張所所長



体験コーナー



模擬店



模擬店協力団体

- 西落合町会 ●上落合三丁目町会 ●中落合三丁目町会
- 落合第二地区青少年育成委員会 ●けやき荘レクの会

★落合第二地域センター行事

平成三十年一月十三日(土)
午後一時三十分(受付は午後一時より) 落合第二地域センター二階・三階

●三味線の演奏(予定)

●羽子板・引きコマ・お手玉 福笑いけん玉 かるた(百人一首含む)

※温かいお汁粉のご用意もあります。

●作って遊ぼう

「羽子板絵付け」
「引きコマ絵付け」

参加無料



★十月イベント

カラオケを楽しむ会
十月七日(土) 午後二時～四時半、三階多目的ホールで二十八名の自慢のノドが披露され、声援を送ったり、写真撮ったりしている温かい様子が見られました。当日のエンタリー曲は左記の通りでした。皆さん、いくつ歌えますか？

曲名	歌手名
王将	村田英雄
蟹工船	村田英雄
アカシヤの雨のやむ時	西田佐知子
愛をあげよう	山本謙一
名もない花に乾杯を	中川博之
花冷え	里見浩太郎
また逢つ日まで	尾崎紀世彦
知りたくなの	菅原洋一
旅人よ	加山雄三
陽はまた昇る	谷村新司
おもいやり	島津亜矢
祝い船	黒木憲
心化粧	門脇隆男
思い出の川	田川寿美
山	五木ひろし
絆酒	北島三郎
宇奈月の雨	千葉一夫
北の出世船	鏡五郎
愛しき日々	福田こうへい
鳥唄	堀内孝雄
ノラ	門倉有希
峠越え	福田こうへい
わすれ花	香西かおり
四万十川	三山ひろし
春夏秋冬屋形船	神野美伽
ひまわり	門倉有希
矢車草	伍代夏子



舞台衣装を楽しむ人も

◆みょうちきりんと言われても (三)

河村目呂二と池袋モンパルナスの時代

自性院の初代猫像の作者、河村目呂二は一九二七（昭和二）年に長崎町北荒井三四一（現在の豊島区高松二丁目）富士浅間神社近くに新居を建築した。周辺は人家も少なく竹藪が広がり、すずめの声がしていた。現在、池袋モンパルナス最初のアトリエ村「すずめが丘」と言われている所である。目呂二は庭で土の人形を焼き、すの子が着色し、「目呂二人形」を作った。十代の頃、近所に住んでいた彫刻家、三坂耿一郎はその作業を見ていて美術を志すきっかけとなったと述懐している。彫刻家の雨田光平も一時近所に住んでいて、彼らとの交流を記している。この近くに関東大震災後の大正十三年、詩人の花岡謙二が学生相手の下宿屋「培風寮」を建て、そこにシュルレアリズムの絵画で著名な、後世にも大きな影響を与えた愛蔵が住んでいた。

池袋モンパルナスにはその後名を成す美術家、文学者が集まる事になるが、そのさきがけとなるのが昭和三年頃、地主が孫のために建てたアトリエ付住宅である。入居希望者が多く、徐々に一軒一軒増やしていった。アトリエ付住宅の基本仕様は屋根には採光窓が付けられ、側面には作品搬出口が備わっていた。その内の一軒に落合にゆかりのある画家、松本竣介が住んでいたが、後に中井四郎の坂上に転居する。中村彝とともにエロシエンコ像を描いた鶴田吾郎も「すずめが丘」の住人だった。



河村目呂二 作

昭和十一年頃になると「すずめが丘」に続いて椎名町附近にアトリエ付住宅「桜が丘パルテノン」が建てられた。周辺に桜が植えられた事から名称が付けられた。ここには「池袋モンパルナス」の名付け親、詩人の小熊秀雄を始め、「原爆の図」を描いた、丸木位里と丸木俊の夫妻やセツ・モードセミナー主催の長沢節、画家の野見山曉治など戦後美術界には欠かせない作家たちが住んでいた。関東大震災後から戦前にかけて芸術家たちは安価な家賃と住みやすい場所だった事で、この周辺に多く集ったのだらう。



豊島区HPより作図 戸津和子

尚、前号文中「雅美」は「雅味」「姉さま」は「おねおね」「あけび庵」は漢字表記で「木通庵」でした。

（高阪三枝子）

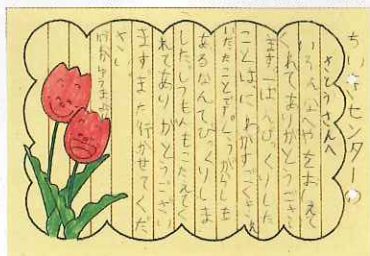
参考文献
「池袋モンパルナスそぞろ歩き」

落三小が落合第二地域センターを見学

十月六日（金）、落三小二年生十六名が地域センターの見学に来館しました。生活科の授業「まちたんけん」の一環で毎年地域各所を数班に分かれて見学しています。



落三小 地域センター見学感想文冊子の表紙

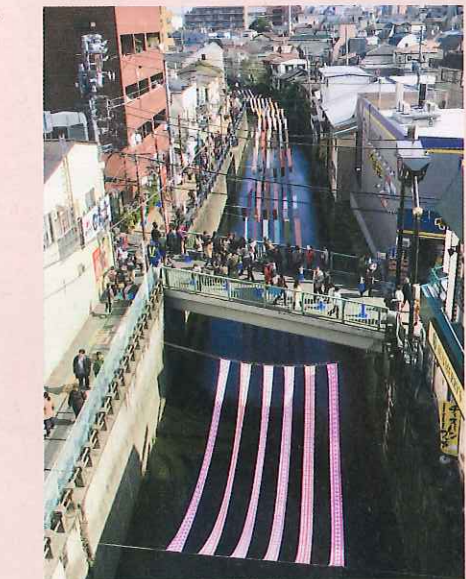


感想 竹おかゆうまさん

染の小道 十周年

◆平成三十年
二月二十三日（金）
二十五日（日）◆

このイベントは商店・住民・染色業の三者が実行委員会代表を一年交替でつとめ、新宿区と新宿区染色協議会が共催して十回目になります。前年度代表、逸見和重さん（落五小卒）が写真を提供してくださいました。



妙正寺川・中井駅周辺

◆落合昔語り (四)

諸橋達人



昭和二十五年前後のバス事情について述べてみたい。地下鉄大江戸線が開通するまで西落合一帯は電車の便が悪かった。電車に乗るには省線（現JR線・国鉄の前はそう言っていた）の目白駅か武蔵野線（現西武池袋線）の東長崎駅か西武線（現西武新宿線）の中井駅へ出る他はなかった。

そのころ私が最もよく使っていたバスは丸山始発で、哲学堂西落合一丁目（現落合南長崎）・目白・護国寺音羽三丁目などを經由して江戸川橋へ出る路線。当時はバスの本数が少なく、始発の丸山で満員になってしまふので降りる客のいない停留所は全部「満員通過」となる。たいてい目白までは降りる客がいないので途中はすべて通過となり、いくら待っても乗れない。

仕方がないので目的地とは反対の丸山行きのバスに乗る。丸山は始発であるから、並んで一台か二台待てば必ず乗ることができた。

バスの種類や大きさも、まちまちであった。ひどいものになると乗降口の扉がなく、鎖一本で内と外とを区切っていた車両もあった。座席は現在のように前向きの席ではなく、窓に沿って横長のベンチ型であった。このほうが中の空間が大きく、乗客もたくさん収容できる。

もちろん、冷暖房などないから窓は、夏は全開、冬は締切り。冬は窓の内側に水滴がついて曇るので、子どもが指で絵などを描いていた。

乗務員は運転手と車掌の二人。車掌は女性であった。運転手は運転に専念するわけだが車掌の仕事はなかなか大変であった。まず乗客に次の停留所の駅名を知らせなければならぬ。「次は〇〇でございます。お降りの方はごいませんか」というように。降りる客は「降ります」と声をかける。車掌は運転手に「次、願います」と合図してバスが停まる。降りる客がいない時は「次、オーライ」と言う。

車内が混雑してきて乗客の音がうるさくなると車掌の音が運転手に聞こえにくくなる。その対策として笛を使ったことがある。停車の場合は一回、通過の場合は二回吹く。なるほど運転手にはよく聞こえるが乗客にとってはやかましくて仕方がない。このやり方は短期間で中止になった。

車掌のもっとも大切な仕事は運賃の回収である。当時は今のように乗車時に支払うのではなく車内精算である。車掌は車内を回り一人一人から料金を集め、切符を切る。乗客はこの切符を降車時に車掌に渡すことで支払いが完了する。切符をなくしてしまうと再度料金を払わねばならない事態も発生する。

通勤・通学時は満員の状態であり、車掌も車内を回りきれない。この場合は止むを得ず降車時の精算となる。これがまた大変。一人二人が降りる駅なら簡単だが、目白や学生が大勢降りる音羽三丁目などは大混雑。料金通りきつちり払う客は問題ないが、釣銭をもらおうとする客はひと苦労。車掌も手が回らないので釣銭は後回しになる。時間に追われて釣銭を犠牲にして行く人もいた。（完）

平和のポスター展

昭和六十一年三月十五日、世界各地で広まっていた平和都市宣言が新宿区でも採択されました。区役所玄関の「平和の灯」や各施設の壁に刻まれた銘板などがその記念物となっています。

翌年から始まった平和のポスター展は、小学四年生、中学三年生の子どもたちが学校毎に出品し、三十年間も続いています。今年は小学生の九〇八点と中学生の二〇八点の合計一一一六点が集まり、最優秀作品六点の中に、落合の子どもの二作品が選ばれました（表紙の作品）。子どもたちの継続的で真摯な取り組みが期待されます。

二作品のタイトルは「All the World Wishes for Peace」と「青空の下で仲良し」。落合第二地域の優秀賞作品七点とともに、九月十一日〜二十一日、落合第二特別出張所の一階ロビーに展示されました。



落合
第三小

ブラインドサッカー教室

十月十日（火）、四年生を対象にブラインドサッカー教室が授業で行われました。日本ブラインドサッカー協会から講師として日本代表選手の高藤健人さんと、指導員の小島雄登さんが来てくださいました。

ブラインドサッカーとは、視覚障がい者がより快適に競技できるようにフットサルを基に考案されたパラリンピックの正式種目です。ゴールキーパー以外は全員アイマスクを着けて視覚の条件を同じにし、転がると音のなる工夫をされたボールの音や掛け声を頼りに競技します。

児童はまず二人一組になり、一人がアイマスクを着けて体操やボール操作に挑戦し、もう一人が相手に助言するという形で授業が行われました。ところがなかなか思うように助言が伝わらず、子どもたちは四苦八苦。目の見えない相手に言葉で伝える難しさを実感しました。講師の方からは「どんな相手でも、相手の立場に立つてコミュニケーションすることを心がけて」という言葉をいただきました。

子どもたちからは「最初はアイマスクを着けると怖いと思ったけど、

アドバイスがあったから楽しかった」という声が聞かれ、目が見えなくても周囲の心遣いで楽しく過ごせることを実感した様子。

障がいのある人だけでなく、全ての周りの人達の立場に立つて考える大切さを教わった子どもたち。将来は誰もが輝ける社会を実現してほしいものです。



音と感覚でボールを摸る加藤さん



コーンはここだよ～



ボールをキャッチできるかな

行事予定

書初め展
平成三十年一月二十二日（月）
二十九日（月）
学校公開
平成三十年一月二十七日（土）

落合
第六小

伊那移動教室

十月四日（水）～六日（金）、長野県伊那市へ六年生が移動教室に行ってきました。一日目と二日目は三～五人ずつのグループに分かれて六軒の農家に宿泊しました。農家ごとにキノコ採り、栗拾い、芋掘り、落花生収穫などの様々な農業体験をし、夕食作りなどの活動をしました。子どもたちは大自然の中で体験を満喫し、農家の方々の温かい人情に触れ、普段家庭や学校

ではできない農村体験をすることができました。また、最終日には森林体験として伐採と木工作をしました。自分で切り倒した木を使った工作に、どの子も真剣に取り組んでいました。

移動教室の三日間は、都会で暮らす子どもたちにとって自然と直に触れ合うことのできた貴重な経験になったと思います。最終日には「また来たい」という感想があちこちから聞かれました。

この移動教室での素晴らしい経験を、今後の自然や農業に対する考え方に生かしていつてほしいと思います。

六年生担任 平川 智晴



農家の豪華な食事



農家の方々と集合写真



にんにくを種にして植える準備



なめこ採り



馬耕体験



最新のまき割り

行事予定

書初め展
平成三十年一月十五日（月）
三十一日（水）
マラソン大会
平成三十年二月二十三日（金）
予備日 二月二十七日（火）

落合
第五小

おちごまつり

九月九日（土）に「おちごまつり」が開催されました。当初は開校五十周年行事の限定記念イベントでしたが、子どもたちをはじめたくさんの方々の好評を得て、十数年の年月を経た今ではPTAの中心的活動となっています。

金管バンドの演奏が開会式を華々しく盛り上げておまつりはスタート！子どもたちは思い思いのコーナーに駆け出します。ゲームで景品を目指す人、スポーツを楽しみながら

自分の実力を試す人、バルーンアート・押し花・竹とんぼなど作品作りに没頭する人、茶道体験で日本文化に触れる人、お得な商品を買って探す人、警察や消防の車両に興味津々な人。そしてお腹がすいたらおいしいそうな匂いのする模擬店コーナーへ。希望者には、お土産としてメダカを持ち帰ることもできました。お手伝い参加の子どもたちも手際よく頑張ってくれました。

お天気にも恵まれ、老若男女問わず楽しめた一日となり、昨年来上回る六三〇名の方々にご来校いただきました。これも地域の皆様のご協力によるものと思っております。ありがとうございました。



金管バンドによる開会式



押し花



ストラックアウト



ボーリング



風船ルーム



コロケパン

行事予定

展示会・書初め展
平成三十年一月二十六日（金）
二十七日（土）
金管バンド
スプリングコンサート
平成三十年二月二十一日（水）

落合
第二中

赤土祭

十月二十二日（土）、「赤土祭」が開催されました。今年のスローガンは「頂上～限界のその先へ」。

午前の部は総合的な学習発表からスタート。一年生「女神湖移動教室」、二年生「職場体験」、三年生「修学旅行」について学んだことを発表しました。クイズ形式や劇仕立てに説明するなど今年も工夫をこらして学年ごとに成長を感じさせる発表でした。

英語スピーチでは、「For Our Dream to Come True」夢をかなえるために～」。ウォルト・ディズニーが夢を叶えた事を例に挙

げ、夢を叶えるために必要な事などを英語でスピーチしました。弁論大会では、各学年から選ばれた生徒が身近で感じた事をきっかけに考え、戦争や人種差別・言葉の力などについて発表しました。一人一人が自分の考えを論じた大変すばらしい弁論でした。

吹奏楽部による演奏は、「Mr.インクレディブル」他を披露しました。体を動かしながら演奏するパフォーマンスなど、歓声もあがり会場を惹き付ける演奏でした。

午後の部は合唱コンクール。各学年・各クラス共に、皆で協力し合い練習を重ねてきた合唱。歌詞のメッセージをよく表現して丁寧に歌い上げていました。

伝統行事の「赤土祭」、冷たい雨の降る日でしたが、会場は熱気に包まれ、今年も大盛況でした。



吹奏楽部



2年職場体験



合唱



3年修学旅行



英語スピーチ



弁論大会

行事予定

学校公開日・土曜授業
展示会
平成三十年三月三日（土）

★平成二十九年度 落合第二地区
コミュニティスポーツ大会
結果報告

十月十五日（日）、落合第二地区コミュニティスポーツ大会が落合第五小学校で開催され、延べ四百人を超える方がスポーツの秋を楽しみました。



レグ・ポッチャ



輪投げ



ユニカール



ビーチボールバレー



パン食い競争

種目		優勝	準優勝	第3位
ビーチボールバレー	中央大会の部	落合ホップスB	落合ホップスA	落六ビスケット
	地域コミュニティの部	東洋の魔王	シルバーストーン	モンテカルロ
輪投げ	60歳以上の部	西落合クラブ	辻町B	おおたわチーム
		最多得点：多田茂子（76点）		
	一般の部	ドキンちゃん	にんじん	K・R・M
ユニカール		最多得点：秋元直祐（34点）		
	一般の部	CO2	ガンバ西落合	オオタワチーム
	子どもの部	にんじん	ドキンちゃん	がんばるガールズ
レグ・ポッチャ		にんじん	しんわビックリ	しんわドッキリ

落二地区の町会長がリレーでご挨拶⑤

上落合三丁目町会 谷口俊顕会長
《顔の見える町内会》を目指して



ご近所の皆さんと会話をしていますか？ 当町会では年間二十件を超える多彩な行事を通して、子どもから高齢の方々まで（どのだれさんだね）と分かり、挨拶ができる町を構築しています。いざという時のために、普段からの町会員同士のかかわりを大切にしています。

秋のごみゼロ運動

十月十一月に秋のごみゼロ運動を実施し、多数の方にご参加いただき、ありがとうございました。



訃報

学習院大学名誉教授篠沢秀夫さんが十月二十六日に亡くなりました。八十四歳でした。地元で講演をいただいた内容が、おちあい第九〇号に掲載されています。心よりご冥福をお祈りいたします。

「コミュニティ誌」おちあいは全て再生紙を使用しています。